

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 大

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野琢雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 長岡 敏

TEL 03-5742-2701

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (一般投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,246	0.2	740	△13.5	690	△18.1	410	△10.9
23年3月期第2四半期	5,234	86.5	856	—	843	—	460	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 407百万円 (△10.9%) 23年3月期第2四半期 457百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	35.12	—
23年3月期第2四半期	39.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	12,815	8,104	63.2	693.78
23年3月期	12,798	7,872	61.5	673.91

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,104百万円 23年3月期 7,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	4.5	1,900	2.6	1,900	1.8	1,100	1.1	93.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	14,000,000 株	23年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,318,634 株	23年3月期	2,318,434 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	11,681,509 株	23年3月期2Q	11,770,528 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に伴うサプライチェーンの混乱はほぼ収束したものの、米国や欧州の債務問題を背景に円高が急速に進行するなど、新興国を含む世界経済全体の先行き不透明感の高まりなどにより、当社グループを取り巻く経営環境は、予断を許さない状況が続いております。

こうした中で、当社グループは『世の中のいかなる変化にも対応し納期遅れを出さない』、『あらゆるムダの排除による徹底した生産性向上に取組み、低コストでお客様の期待に応える』体制強化に取り組んできました。この変化対応力が評価され、建設機械・工作機械向けの油圧市場における需要は堅調に推移しましたが、半導体・液晶製造装置関連市場においては、設備投資計画の見直しや在庫が生産調整段階に入るなど、やや弱含みの傾向になりつつあるため、グループ全体の売上高はほぼ前年並みとなりました。利益面においては確定給付企業年金移行時差異負担等固定費の増加分を吸収できず、減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億46百万円（前年同期比0.2%増）となり、営業利益は7億40百万円（前年同期比13.5%減）、経常利益は6億90百万円（前年同期比18.1%減）、四半期純利益は4億10百万円（前年同期比10.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

（静岡事業所）

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が減少し、売上高は9億65百万円（前年同期比16.3%減）、セグメント利益は1億84百万円（同36.9%減）となりました。

（岐阜事業所）

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しておりますが、重点市場である建設機械・工作機械市場向けは、堅調な受注に支えられ、売上高は22億31百万円（前年同期比26.2%増）、セグメント利益は9億77百万円（同26.2%増）となりました。

（山形事業所）

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が減少し、売上高は16億91百万円（前年同期比9.5%減）、セグメント利益は5億19百万円（同14.3%減）となりました。

（IPEC岐阜事業所）

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、第1四半期後半から建設機械関連からの受注が戻りましたが、売上高は5億42百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益は1億6百万円（同7.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで88百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで3億12百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで40百万円のプラスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より1億93百万円減少し54億66百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は88百万円（前年同期は9億85百万円のプラス）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上6億86百万円、賞与引当金の増加による2億61百万円の増加、売上債権の減少による35百万円増加、仕入債務の減少による1億6百万円減少、法人税等の支払額による6億82百万円減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は3億12百万円（前年同期は47百万円の支出）となりました。この主な要因は有形固定資産の取得による2億92百万円でありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果増加した資金は40百万円でありました。この主な要因は、長期借入金の収入7億6百万円の増加、社債の償還による2億75百万円、長期借入金の返済による2億10百万円、配当金の支払いによる1億73百万円でありました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における連結売上高においてほぼ計画通りに推移しており、利益面においてはやや減収となっておりますが、第3四半期以降の市況は不透明であることから、通期の業績予想は、平成23年5月11日に発表いたしました予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,660	5,466
受取手形及び売掛金	2,207	2,172
商品及び製品	332	339
仕掛品	479	509
原材料及び貯蔵品	700	704
繰延税金資産	149	189
その他	129	118
流動資産合計	9,658	9,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,057	1,026
機械装置及び運搬具（純額）	573	523
土地	526	526
建設仮勘定	72	303
その他（純額）	33	47
有形固定資産合計	2,263	2,428
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	56	53
長期貸付金	2	7
生命保険積立金	57	62
繰延税金資産	615	616
その他	66	66
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	797	805
固定資産合計	3,139	3,314
資産合計	12,798	12,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	506	399
1年内償還予定の社債	525	500
短期借入金	33	60
未払金	312	145
未払法人税等	702	329
賞与引当金	—	261
役員賞与引当金	20	—
その他	104	73
流動負債合計	2,204	1,770
固定負債		
社債	750	500
長期借入金	73	535
退職給付引当金	1,559	1,554
役員退職慰労引当金	159	170
資産除去債務	53	53
その他	126	126
固定負債合計	2,721	2,939
負債合計	4,925	4,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	7,431	7,666
自己株式	△1,742	△1,742
株主資本合計	7,871	8,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△1
その他の包括利益累計額合計	0	△1
純資産合計	7,872	8,104
負債純資産合計	12,798	12,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	5,234	5,246
売上原価	3,546	3,658
売上総利益	1,687	1,587
販売費及び一般管理費	831	846
営業利益	856	740
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
仕入割引	4	0
助成金収入	7	—
その他	31	2
営業外収益合計	43	3
営業外費用		
支払利息	12	8
為替差損	23	30
売上債権売却損	7	7
売上割引	0	0
その他	12	6
営業外費用合計	56	53
経常利益	843	690
特別損失		
投資有価証券評価損	6	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40	—
ゴルフ会員権評価損	—	2
訴訟和解金	—	1
その他	0	—
特別損失合計	47	3
税金等調整前四半期純利益	796	686
法人税、住民税及び事業税	394	315
法人税等調整額	△58	△38
法人税等合計	335	276
少数株主損益調整前四半期純利益	460	410
四半期純利益	460	410

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	460	410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△2
為替換算調整勘定	0	—
その他の包括利益合計	△3	△2
四半期包括利益	457	407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457	407

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	796	686
減価償却費	142	128
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9	△4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19	10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△20
賞与引当金の増減額 (△は減少)	211	261
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	6	—
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	12	8
為替差損益 (△は益)	10	10
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40	—
ゴルフ会員権評価損	—	2
売上債権の増減額 (△は増加)	△455	35
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30	△41
仕入債務の増減額 (△は減少)	67	△106
未払金の増減額 (△は減少)	△87	△167
その他	139	△23
小計	842	779
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△12	△8
法人税等の支払額	154	△682
営業活動によるキャッシュ・フロー	985	88
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50	△292
無形固定資産の取得による支出	△1	△5
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	3	—
保険積立金の積立による支出	△1	△5
保険積立金の解約による収入	3	—
その他	0	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47	△312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1	△6
長期借入れによる収入	—	706
長期借入金の返済による支出	△4	△210
社債の償還による支出	△325	△275
自己株式の取得による支出	△58	△0
配当金の支払額	△117	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△506	40
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	421	△193
現金及び現金同等物の期首残高	4,687	5,660
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,108	5,466

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,128	1,543	1,785	531	4,988	246	5,234
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	225	82	16	351	4	355
計	1,154	1,768	1,867	548	5,339	250	5,589
セグメント利益	292	774	606	98	1,773	34	1,807

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,773
「その他」の区分の利益	34
セグメント間取引消去	△196
全社費用(注)	△719
棚卸資産の調整額	△34
四半期連結損益計算書の営業利益	856

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	934	1,971	1,617	509	5,032	213	5,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	31	260	73	32	398	2	401
計	965	2,231	1,691	542	5,431	216	5,647
セグメント利益	184	977	519	106	1,788	5	1,794

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,788
「その他」の区分の利益	5
セグメント間取引消去	△287
全社費用(注)	△751
棚卸資産の調整額	△14
四半期連結損益計算書の営業利益	740

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。